春

ほくとしちせい

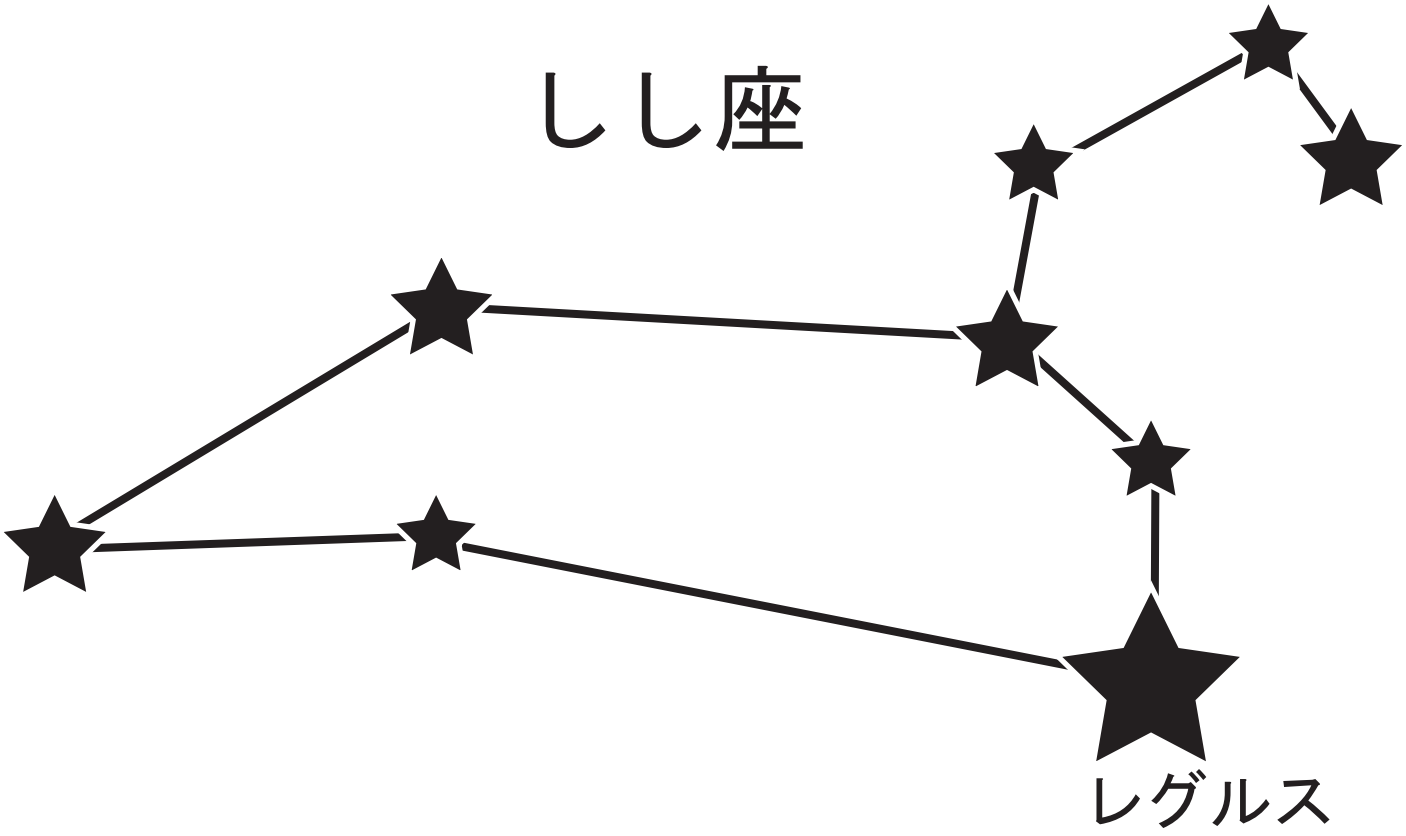
北斗七星

おおぐま座の一部

阿南市科学センター

北斗七星は春ごろに観察しやすく、星座ではなく「おおぐま座」の一部として知られています。北極星を探すてがかりとしても有名です。古代中国の伝説では北斗七星は死をつかさどる仙人、南斗六星（いて座の一部）は生をつかさどる仙人として登場します。

春

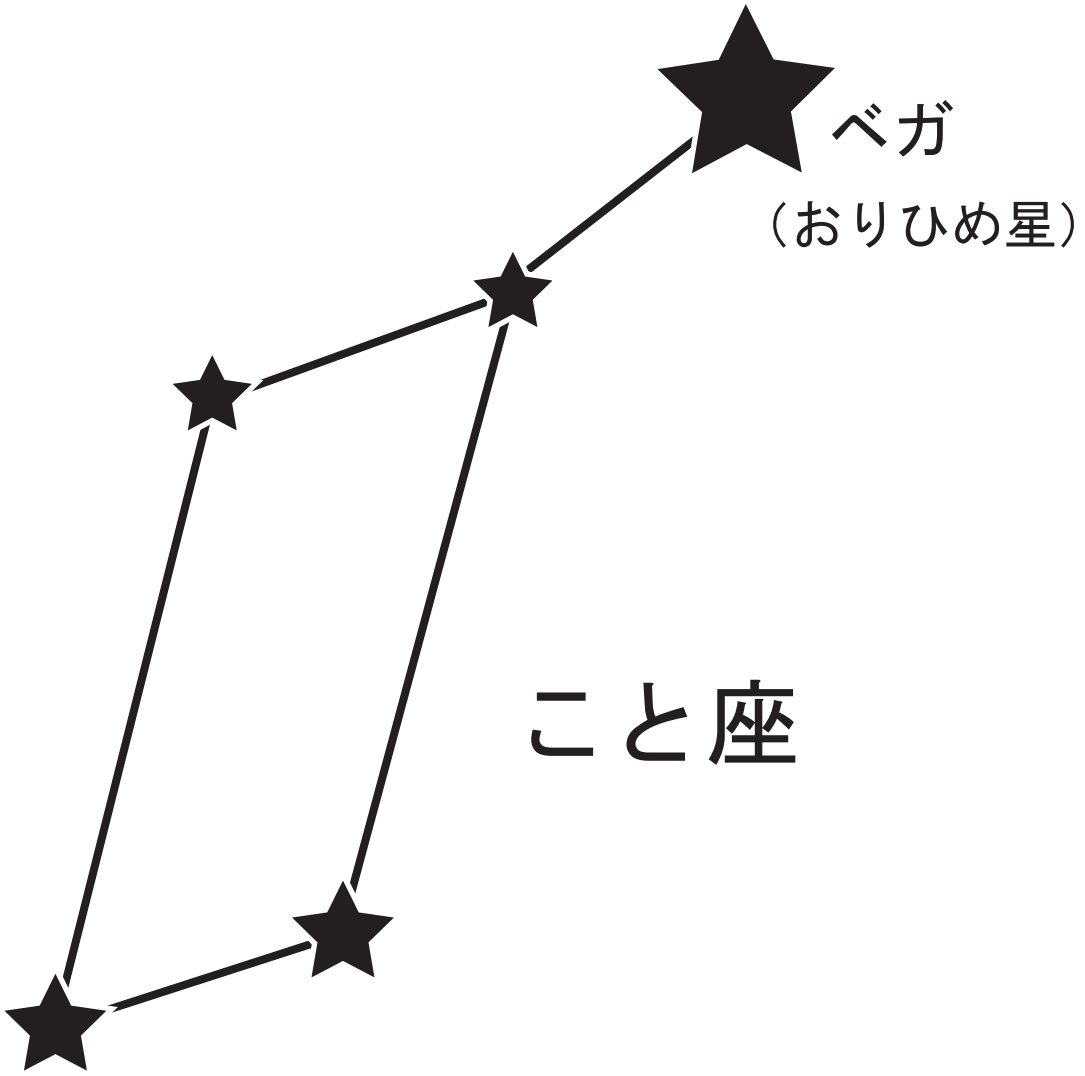


阿南市科学センター

　しし座は春ごろ観察しやすく、レグルスという1等星は王を意味するレックス（ラテン語）が語源となっています。ギリシャ神話の中ではネメアの森にすむ人食いライオンとして登場しますが、英雄ヘラクレスによって退治されてしまいます。

　はくちょう座は夏ごろ観察しやすく、デネブという1等星は夏の大三角の一つとして有名で、天の川の中を翼を広げて飛ぶように見えます。ギリシャ神話の中では大神ゼウスが変身した姿だとされています。

夏



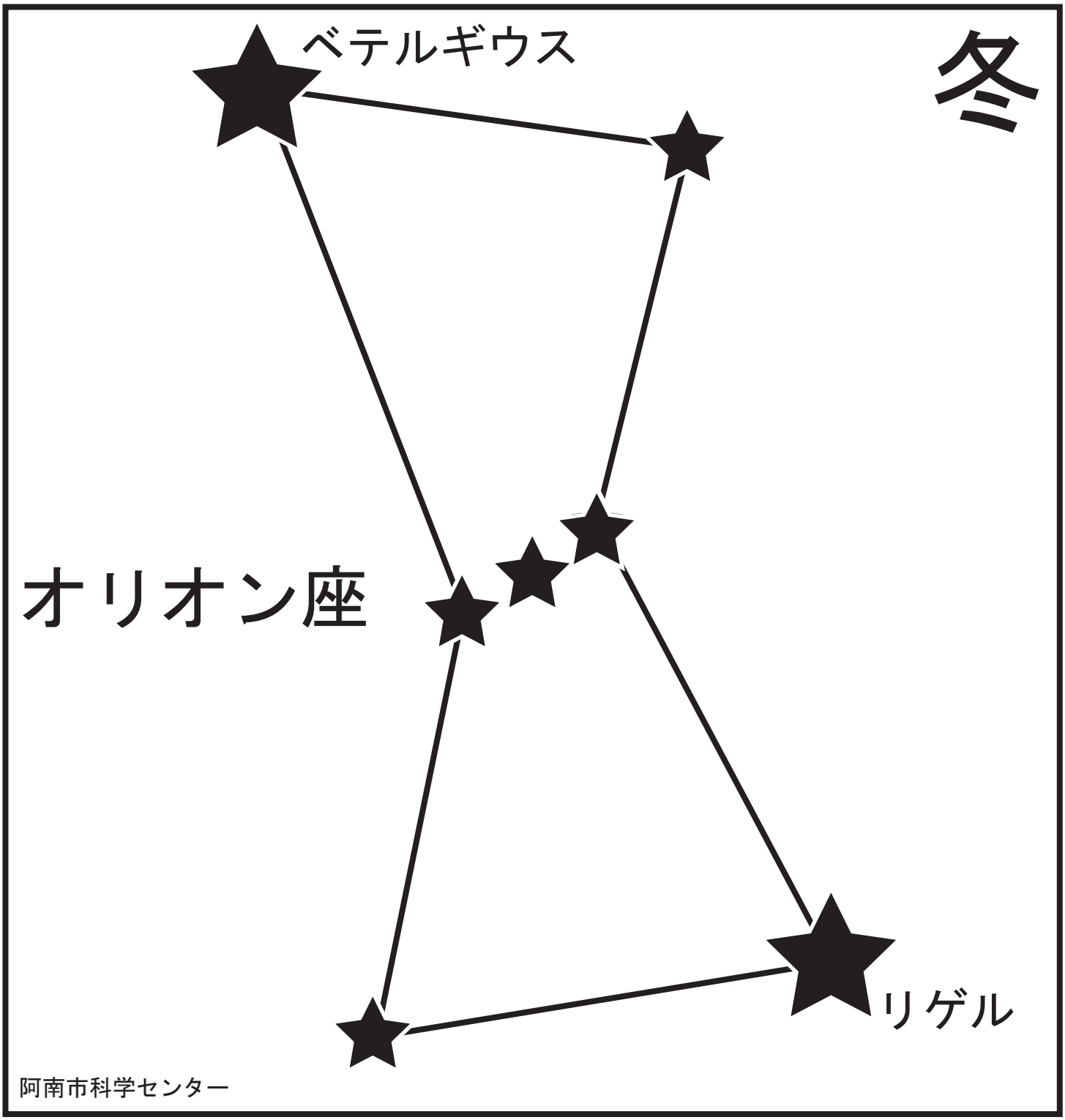
阿南市科学センター

　こと座は夏ごろ観察しやすく、ベガという0等星は七夕のおりひめ星や夏の大三角の一つとして有名です。ギリシャ神話の中では琴の名手であるオルフェウスが手にしていた縦琴として知られています。

秋

阿南市科学センター

　カシオペヤ座は秋ごろ北よりの空で観察しやすく、北極星を探すてがかりになる星座として有名です。カシオペヤは古代エチオピアの王妃の名前です。夫であるケフェウス王との間にはアンドロメダ姫という娘がいます。



　オリオン座は冬ごろ観察しやすく、ベテルギウスやリゲルという二つの1等星がかがやいています。ベテルギウスは冬の大三角の一つとしても有名です。ギリシャ神話の中では狩りの名人として知られていますが、とてもえらそうな人だったので、神様の怒りをかって大さそりに刺されて命をおとしてしまいます